

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-2	4-1-2		事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
土地活用率(地区内において宅地建設など土地の利用が図られた割合)	19%	22%	26%	28%	30%	30%	
公園・緑地面積	1.4ha	1.4ha	2.4ha	6.3ha	6.3ha	10.0ha	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 地区公園の整備を進めるにあたっては、計画段階から周辺町内会との意見交換会や計画内容を記載したニュースレターの発行を通じて、市民意見の反映や情報提供を行った。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>平成20年度事業で、計画どおり人工芝サッカー場2面の早期整備を行い、平成21年9月に開催される「ねんりんピック 北海道・札幌大会」のサッカー競技会場として活用することとなった。 また同大会への会場提供で、ウエルビア“ひかりの”のイメージアップが可能となった。</p>			<p>ウエルビア“ひかりの”の「水と緑」のまちづくりテーマを具体化する拠点施設として、他の公園や緑地とのネットワーク化を図りながら整備を進める必要がある。</p> <p>東雁来第2土地区画整理事業による街づくりにおいては、保留地の処分や、地区内の重点整備地区の土地利用の具体化が、今後の事業の執行や街づくりの推進に大きく影響することになる。 そのためにも、街づくりを推進するための施策の実施や積極的な広報展開、利便施設等の誘致や交通アクセスの早期改善が求められている。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>地区公園の整備は平成20年度から平成23年度まで継続して行い、引き続き近隣公園(雁穂公園 2.0ha)や街区公園、緑地の整備も併せて行なうなど、平成29年度の事業終了まで、「みどり豊かな美しい街」の拠点となる公園緑地の整備を着実に進めていく。</p> <p>また、東雁来第2土地区画整理事業による街づくりにおいては、今後も、道路や宅地造成などの面整備が進む。そして、平成23年度からは事業推進の要となる重点整備地区内の保留地分譲を行う計画となっており、「みどり豊かな美しい街」の実現に向けて着実な事業の執行や施策の展開を図っていく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-2	4-1-2	事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	14,000	575,000	379,900	508,100	1,477,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	7,000	250,000	117,000	175,000	549,000	
	市の債	6,000	270,000	217,000	279,000	772,000	
	その他の一般財源					0	
予算	事業費	14,000	415,000	149,000	-	578,000	
実績	財源内訳						
	国・道支出金	7,000	200,000	57,000		264,000	
	市の債	6,000	187,000	71,000		264,000	
	その他の一般財源	0	0	0		0	
	事業費	14,000	399,000	-	-	413,000	
実績	財源内訳						
	国・道支出金	7,000	193,000			200,000	
	市の債	6,300	179,000			185,300	
	その他の一般財源	0	0			0	
	事業費の進捗率	(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					38.1%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 地区公園整備については、当初計画では平成20年度にサッカー場2面と周辺施設を含む南側エリア3.6haの整備、平成22年度に北側エリア4haの整備を予定していたが、北側エリアの基盤造成の進捗と地盤安定を考慮し、南側エリアは平成20年度～21年度、北側エリアは平成22年度～23年度に整備スケジュールを変更することとした。</p> <p>[19年度] 計画との差異はない。</p> <p>[20年度] 南側エリアの造成スケジュールを平成20年度～21年度の2ヵ年としたため、平成20年度は事業費が減額になった。</p>							